

**【注意】申請する補助対象事業によって、様式が異なります！**

新需要獲得事業、脱炭素推進事業、人材育成事業、DX・現場改善事業の申請例です。

様式第7号（第10関係）

（新需要獲得、脱炭素推進、人材育成、DX・現場改善事業の申請様式）

事業実績報告書

1 事業実績

報告する補助対象事業に  を  
いれてください。

補助対象事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新需要獲得事業 <input type="checkbox"/> 脱炭素推進事業 <input type="checkbox"/> 人材育成事業 <input type="checkbox"/> DX・現場改善事業 ※「省力化推進事業」の申請は別様式
事業完了日	令和8年 11月 30日
事業の効果	<p>（実施した事業の具体的な内容）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新分野の医療産業機械の部品製造を開始し、試作品を製作。材料や工法を変えて試作を繰り返し、他社と比較しより最適な製品を製作。</li><li>・●●展示会へ出展した際には、ブース来場者数〇名で、そのうち数社と商談を実施した。</li></ul> <p>（課題に対する事業実施の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・試作品の開発により、医療機器分野の受注獲得に向けた営業活動に結びつけることができた。</li><li>・展示会における商談の結果、医療機器メーカーAと具体的な取引交渉まで進むことができた。新製品については、●●技術が画期的であると評価を得ている。</li></ul> <p>（生産性向上がどの程度達成できたか／売上結果や削減経費等、事業実施前と比べて定量的にどのくらい効果があったかを分析し、具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療分野における取引確保により、減少した売上の回復にめどをつけることができた。</li><li>・次年度は、医療機器メーカーAとの取引を拡大し、会社売上高〇%増加に向けた取り組みを進めていく予定。</li></ul>

- ・①実施した事業の具体的な内容、②課題に対する事業の効果、③生産性向上がどの程度達成できたかを記載してください。売上結果や削減経費等、できるだけ数値で記載してください。
- ・人材育成事業の場合、事業の効果は、受講した従業員個人の成果や感想ではなく、事業者の立場から事業実施における効果をご記入ください。

## 2 経費明細書

経費名	金額（税抜額）
機械装置費	155,000 円
広告宣伝・販売促進費	750,000 円
その他経費（試作品の材料費）	50,000 円
合計	955,000 円

交付申請で提出した「事業計画書（様式第2号）」の「2 経費明細書」と同様の記載となります。  
※交付申請の事業計画に変更がある場合、事業計画変更承認申請が必要になる場合があります  
のでご注意ください。